

行政評価外部評価報告書

平成22年11月18日

江別市行政評価外部評価委員会

江別市長 三好 昇 様

江別市の行政評価に関して、行政評価外部評価委員会による評価を実施し、このたび本報告書を取りまとめましたので報告いたします。

平成22年11月18日

江別市行政評価外部評価委員会

委員長	齊藤 徹
副委員長	井上 宏子
委員	山下 善隆
委員	小野寺 一男
委員	高田 貢一

1. 行政評価外部評価委員会の目的

行政外部の専門家及び市民の視点での評価等により、市が実施している行政評価の客観性及び信頼性を確保することを目的としています。

2. 外部評価の視点

本委員会は、評価制度の向上と施策の成果向上に向け、次の視点により評価を行いました。

- ①現状の把握や課題の認識がなされているか
- ②施策・基本事業等の目的や指標は適切か
- ③分析結果を踏まえて論理的な方向性が選択されているか

3. 行政評価外部評価委員会の構成

人数：5名

任期：平成22年8月3日～平成23年3月31日

役職	氏名	所属団体等	備考
委員長	齊藤 徹	北翔大学短期大学部 学長	学識者
副委員長	井上 宏子	消費生活アドバイザー、札幌市オンブズマン	有識者
委員	山下 善隆	山下経営コンサルティング事務所 代表	有識者
委員	小野寺 一男	公募委員	市民代表
委員	高田 貢一	公募委員	市民代表

4. 外部評価対象の選定

江別市の第5次総合計画には31施策が体系付けられていますが、本年度は外部評価の最初の年度であり、試行としての要素も考慮して、市民生活に関連の深い施策を対象に、環境、子育て、教育それぞれの分野からの6施策を選定し、江別市が実施した「施策達成度報告書」に基づき評価を行いました。

5. 行政評価外部評価委員会の経過

日時	内容
8月3日(火) 14:00～16:00	第1回行政評価外部評価委員会 委嘱状交付、委員長・副委員長の選出、評価方法等の確認
9月1日(水) 14:00～17:30	第2回行政評価外部評価委員会 外部評価「効率的な行財政運営の推進」、「人と地球にやさしい環境の創出」「子育て環境の充実」
10月1日(金) 13:30～17:00	第3回行政評価外部評価委員会 外部評価「子どもの可能性を伸ばす教育の充実」、「生涯学習の充実」「青少年健全育成の推進」
11月10日(水) 14:00～15:15	第4回行政評価外部評価委員会 これまでの評価を踏まえての審議、報告書としてのまとめ

6. 外部評価の結果

本委員会は、江別市が実施した平成22年度の行政評価について、前記2の視点に基づき、所管部局からの説明を受け、詳細な評価を行いましたので、ここにその結果を報告します。

本委員会は、この取り組みが市民参加による市政運営の一助となり、市民の満足度の向上につながることを期待します。

【総 評】

江別市の行政評価システムは「計画－実行－評価」というPDSサイクルに基づく市政運営の実現を目的に導入されたものです。

本委員会は、市が自己評価した評価結果について、外部の客観的な立場から評価を行ったものですが、各部局においては、評価表が市民への説明責任を果たす重要なツールであるとともに、次年度以降の施策・事業展開の判断材料となることを十分自覚して評価作業が行われており、現状の把握や課題の認識、指標の設定、分析などの評価の視点に照らし、市の評価結果は総じて適切であると考えます。

なお、個々の指摘事項は別紙に示したとおりですが、総体的な傾向としては次の2点が挙げられることから、各部局にあっては、行政評価システムのさらなる充実に向け、改善に心がけられることを望みます。

【改善項目】

① 市民にわかりやすい評価

行政評価制度は、市が取り組む施策や事業の実施状況を自ら点検・評価し、その結果に基づき必要な見直しを行うことにより効率的・効果的な市政運営を行うとともに、一連の経過を市民にわかりやすく説明することにより、行政と市民が情報を共有し、市民参加による市政の実現を図ろうとするものです。

こうした観点から、現在、市が実施している行政評価表を点検すると、評価表の記載内容に専門用語が多用されていたり、達成状況の分析が不十分であるなど、行政の仕組みに馴染みの薄い市民にはわかりにくい点も見受けられます。

評価表の作成に当たっては、市民の目線に立った説明を心がけるとともに、達成状況の分析なども、アンケート結果などの具体的な実例を挙げるなど、説得力のある説明が望まれます。

② 適切な成果指標の設定

行政が進めるまちづくりは、総合計画の施策に基づいて体系的に取り組まれていますが、それぞれの施策ごとに、計画期間内においてどこまでの水準を目指すのか、現段階ではどこまで到達したのか、予定どおり進んでいるのか、遅れているのかといった進捗状況を示すのが成果指標です。

こうした指標の設定に当たっては、各施策が目指す結果を端的に表すデータの使用が望ましいところですが、市が設定している成果指標の中には、施策の意図とは関連が薄いもの、施策の全体像を反映していないものなども見受けられます。

指標の設定に当たっては、既存のデータに適当なものがなかったり、新たにデータを取ることが難しいなどの課題もあるものとは思われますが、市民の要望を十分に理解したうえで、市民アンケートを工夫するなど、可能なかぎり、目指すべきまちづくりの方向を適切に示す指標の設定に努められることを期待します。